

火の用心

空気が乾燥し、火災の発生しやすい時期となりました。火災は少しの油断で発生することが多く、ひとたび発生すると、一瞬でかけがえのない生命や財産を奪ってしまいます。日頃から「火の用心」を心がけ、火災のない村を目指しましょう。



① 消火器の使い方を確認(大河原小学校) ②③ 消防団員と一緒に消防活動を体験(第一・第二保育園) ④⑤ 口を押さえ煙を吸わないように避難(南・東小学校) ⑥⑦ 保育士が消防団員から消火栓の使い方を学び放水体験(第一・子育て保育園)

初期消火の有効性

火災が発生してしまったとき、小火であれば消火器で延焼を防ぐことが可能です。火災を初期段階で抑えることができれば、他の住宅に燃え移ることや近隣住民の命を守ることもつながります。各家庭に一台、消火器の設置をお願いします。

消火器で消せる目安は「火が天井に届く前」までです。すでに火が天井まで燃え広がってしまったら、消火器で消すのは諦め、身の安全を確保し、119番通報してください。

火を扱う時は責任をもって

具体的に注意すべき点を確認していきます。家庭では、外出時や寝る前に必ず火の元を確認しましょう。暖房器具は、燃えやすいものから離れた位置で使用するとともに、定期的に点検し、調子の悪い器具は専門の業者に見てもらいましょう。また、火を取り扱っている最中は、その場所から離れないようお願いします。火災を早期に見るための住宅用火災警報器の設置と、初期消火に有効な消火器を日頃から備えておきましょう。

消火器の使い方

消火器は身近な消火手段です。日頃から消火器の設置場所と使い方を確認しておきましょう。



火災発生時は

慌てずに119番通報

万が一、火災が起きたときは、消防に通報し次の2つを伝えてください。

- ① 住所、または目印になる施設
- ② 燃えているもの(家、枯れ草など)